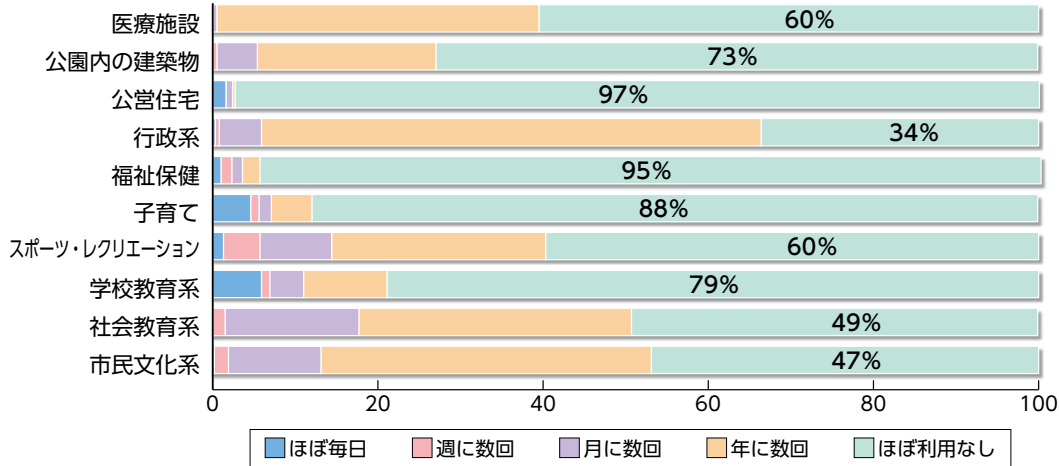


市では、今後の人口減少や財政状況の変化により、公共施設の適正化に向けた取り組みのひとつとして、市民の皆さまから今後の公共施設の在り方について、広く意見を伺うため、市民アンケートを実施しました。

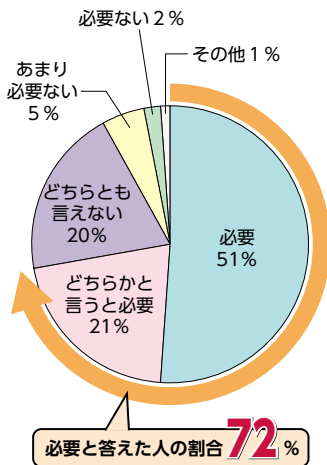
調査対象	14歳以上の御前崎市民1000人		
抽出方法	地区比率: 1000人を地区の人口比率で乗じた数 年代比率: ほぼ均等に割り振り 男女比率: 各地区男女半数ずつ		
調査期間	平成28年3月18日～3月31日		
調査方法	郵送調査	回収率	49.8%



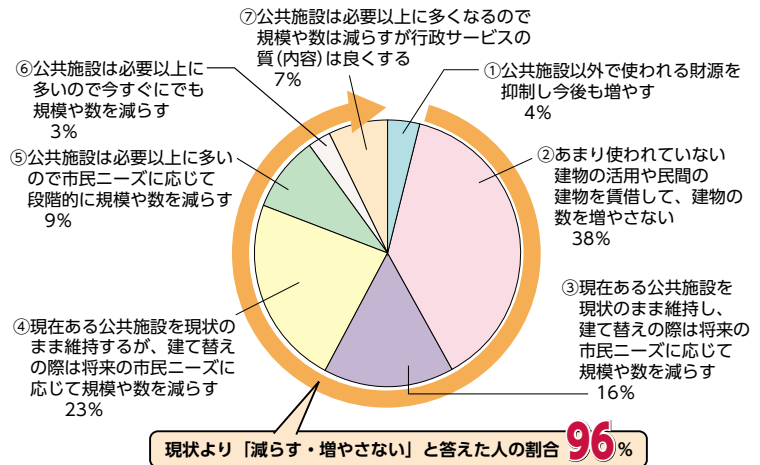
Q 市内の公共建築物の過去1年間の利用状況についてお尋ねします。



Q 今後の公共施設の在り方を検討することは必要だと思いますか？



Q 今後の整備についてどう進めていくべきだと思いますか？



すべての分類で「ほぼ利用なし」「年に数回」と答えた人の割合 80%以上回答していただいた市民の多くが、公共施設の在り方の検討や施設総量の抑制に向けた取り組み、サービスの見直しなどが必要であると感じています。
(補足)別の設問で施設数は福祉保健施設・医療施設、サービスは医療施設の充実度について不足していると答えている市民の割合が高い傾向にありました。

公共施設をとりまく現状と課題を市民の皆さまと共に考え、安全・安心で最適な公共サービスを提供します。そして、将来に負担を引き継ぎません。現在ある公共施設を上手に利用し「未来につなぐみんなに愛されるまちづくりの拠点」となるよう目指します。

※詳細は市ホームページでも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。